

自己評価結果公表シート（平成29年度）

1、本園の教育目標

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度は教職員の保育の質向上に取り組むことができた。

今年度は、昨年度と同様に、継続的に保育の質向上に取り組み、引き続き教職員間で安全管理について共通理解をはかる。

また園内での安全管理だけではなく、スクールバスの中でのルール作りや、公園や自然観察園等の園外にも意識を向け、昨年度より広域の安全管理に重点を置いた保育に取り組む。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	評価
<p>幼児の広域な周囲の環境を、予測できる範囲事前に防止する。</p> <p>また、園児が実際に行動している際には、周囲の環境を素早く察知し、防ぐようにする。</p>	<p>週案で計画した内容に安全性が確認されるか再度検討する。</p> <p>園児を公園等に連れて行く前に、その現場の環境に変化がないのか確認してから連れて行く。</p>	A
<p>改善が必要な保育内容を検討し、教職員間で意見交流を行う事で、より当園の特色を出せる保育内容に近付ける。</p>	<p>少しずつ改善や変化が必要な保育内容は見つけられたが、全てに対応することは出来なかった為、引き続き検討が必要である。</p>	B
<p>保育年数が多い職員と新任の職員とで知識や技術を共有し、より当園の教育目標に近い保育の実現を目指す。</p>	<p>今年度は新任の職員が多かった為、当園の教育内容に向けて話し合う機会を増やした。</p>	A
<p>職員と保護者とが連絡を密に取り合い、保護者からも子どもの情報を発信できる環境を作る。</p>	<p>子どもの伝えるべき内容は発信することができたが、それ以上の情報を発信する為の十分な時間が確保できなかった。</p>	B

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

まだまだ経過途中の項目も見られてはいるが、今後も引き続き取り組む項目がある。
また、安全性については、子どもの動き、園内・園外といった広い視野での共通認識が必要であると感じたので、安全管理マニュアルを再度見直ししていきたい。

5、今後取り組むべき課題	具体的な取り組み方法
基本的生活習慣	教育の基本的な「挨拶」や「お礼」など言葉や人間関係だけでなく、朝食を食べる、早寝早起きをする、といった正しい生活習慣を身に付けてもらえるよう、家庭(保護者)を含めて子ども達に促す。
安全性の確認	園児の行動を予測し環境を整え、ケガをしないように事前に気付き対処できるよう、職員間で話し合いを行う。
職員の質の向上	一つのテーマについて、研修や園内会議で、情報を共有しながら話し合う。

6、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

7、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

「達成度」の表示方法

【A】：十分に達成されている。

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが、達成が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である